

平成27年7月16日

各支部 会長 殿

「日本剣道形」について

神奈川県剣道連盟
理事長 久保木文夫

※ 下記内容については、各支部から地元の学校を含め、会員に漏れなく伝達されるよう、ご配慮ください。

県下各地で行われた三段以下審査会、及び県立武道館での四・五段審査会では、「剣道形」での不合格者が増加傾向にあります。

「稽古と形は車の両輪のごとく」と言われるように、剣道形は、日本古来の各流派の中から良いところを集めて作られていて、その目的は、剣道形の修練を通じて、剣道の原点である剣の理法（理合い）を学んで、剣道の正しい普及発展に役立てることを目的としています。

形を覚えるだけでなく、理合いをしっかりと勉強して、これからの剣道の修行に役立ててください。

つきましては、受審者、及び受審を予定している人は、県の形講習会や、地元の講習会に積極的に参加して研鑽を重ね、「正しい日本剣道形の習得」に十分心がけていただくようお願いいたします。

尚、平成27年度後期の審査会より、現在5組（10人）で行っている形審査の組数を減らすなどして、より厳しく審査することといたします。